

研究分野のキーワード：脂肪厚，筋厚，運動能力，筋萎縮

研究紹介：

私の研究室では大きく分けて二つの研究を進めています。一つはヒトを対象とした形態と体力に関する研究で、もう一つは実験動物を用いた骨格筋の適応変化に関する研究です。

ヒトを対象とした研究では、超音波診断装置を用いて、身体の脂肪や骨格筋の厚さを調べています。

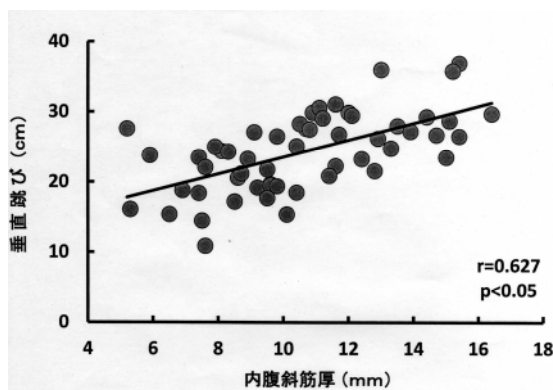
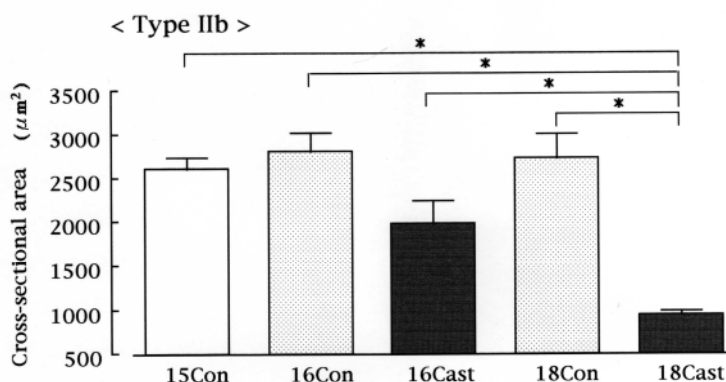


図24. 内腹斜筋厚と垂直跳びとの関係

これは卒業研究で行われた腹筋の一つである内腹斜筋の厚さと垂直跳びの関係を示した図です。この図は、内腹斜筋と垂直跳びの間には密接な関係があることを示しています。これらの結果は、垂直跳びの能力を高めるためには、脚筋力だけでなく体幹の筋も鍛える必要があることを示しています。



これも卒業研究で得られたデータで、ラットの後肢にギプスを施し、固定後1週間目と3週間目の内側腓腹筋の速筋線維の大きさを示しています。これらの結果は内側腓腹筋のこのタイプの速筋線維萎縮は、固定開始1週間目は萎縮の程度が小さいことを示しています。実は、他のタイプの筋線維では、固定開始1週間目の萎縮が著しかったりします。何故でしょう？

上記のような研究を行い、どうしてそうなるのかといったメカニズムに関して研究を行っています。